

# 広報 ながはま 11月号



## 声を聞く秋

食欲の秋、芸術の秋、読書の秋―など、秋を表現することばもあれこれあるようですが、長浜町ではこの秋を「声を聞く秋」と称して、住民のみなさんの生の声をできるだけたくさん聞かせてもらう秋にしています。そして少しでも多く住民の声を通った町政ができるようにと願っています。その一つとして毎年おこなっているのが、「秋の行政連絡会」です。この会もこととして三年目になります。

行政連絡会は年二回、春と秋に開き、春は町が町政策を住民のみなさんに説明Ⅱ（広報）、秋は町政に対する意見や要望などを直接住民の方から聞かせていただき次期町政策に生かしてゆくⅡ（公聴）という方針で実施しているもので、町内の各種団体や機関の方約七百人にそれぞれハガキで案内し開いています。

しかし、これまでは全町で一か所（町体育館など）の会場に集まっていた総合的なものだったため遠路の方々には無理があったのか出席がかなり少くなく毎回三百人を下回っているのが実情です。

そこで、ことしの秋は少しでも多くの方に出席していただき、少しでも多くの声が届くように各地に出向いて聞くことにしました。

その皮切りが出海地区で、さる十月二十三日に愛媛県が主催する「生活環境をよくする懇談会」と合わせて開催しました。会には町三役のほか各課長全員出席、一方、農繁期中にもかかわらず地域からも約三十人の方が出席、中学統合の問題や道路問題などを中心にいるような意見や要望が出ることも、町もこれに対して一つ一つ解答しました。

私たち長浜町は、こんごもこの会を公聴活動の最大の軸として、町住民の声を通った町政をすすめ、長浜町を振興してゆく基本目標である、楽しく住みよい町づくり、豊かていきがいのある町づくり、美しい人情と文化の町づくりをめざして努力します。

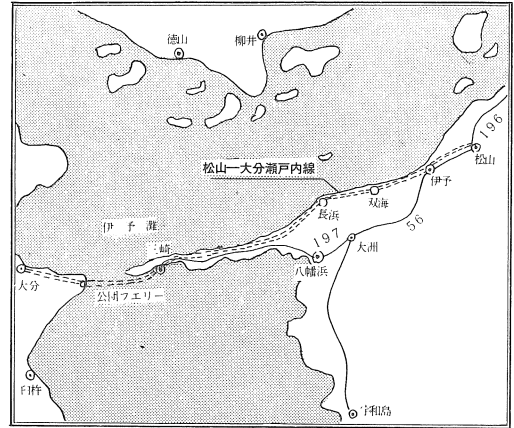
機会あるごとに、遠慮のない声をどしどしお聞かせくださいますように……。

写真は、中学統合のことや道路問題の意見、要望が多かった出海地区での行政連絡会と生活環境をよくする懇談会の合同会

海岸線 松山—長浜—大分

# 国道昇格めざし推進協発足

実現すれば大きなメリット



国道昇格推進路線図

## 運動盛り上げ早期実現を!!

松山—伊予—双海—長浜—保内—大分を結ぶ松山—大分瀬戸内線県道を、国道に昇格しようとする気運が本町および双海町をはじめ関係ある市町にわたって高まってきました。

そこで、まず長浜町と双海町がこの推進母体となって「松山—大分瀬戸内線国道昇格推進協議会」を発足させることとなり、この十月九日、長浜町体育館に両町の関係者約百人が出席して、その結成大会を開きました。

この道路が国道に昇格されれば短期間に改修が進められるほか、道路そのものの質的向上がはかれることによって、県都松山などとはもちろんのこと、九州、本州との政治、経済、文化の交流が盛んになることは間違いない、中でも私たち長浜町や双海町住民に与えるメリットは大なるものがあることはいうまでもありません。

また、県内中予と南予を結ぶパイプが、将来国道五六号線、国鉄

内山線に片寄ることも予想されるところから、私たち海岸沿線に住む者にとつては「時代に取り残されはしないか」との不安が強いがその不安を取り除くための唯一の条件でもあります。さらには、臨海工業地帯を基盤として新しい発展をめざす本町にとつては、当然、国道規模の道路が必要となつてきます。

あと、後藤熊市国道昇格特別委員長が、「昇格めざして推進協議会を結成し、総力をあげてその目的達成にまいしんする」と大会宣言、ひきつづき規約の制定、役員を選出がおこなわれ、会長に西田町長、副会長に仲野双海町長を選任ほか理事、幹事、監事を選任するとともに大会決議をして閉会しました。

かけて期成同盟会の結成へと組織拡大をはかり、一日も早く昇格が実現するよう運動を展開してゆくことにしています。

あなたのご協力を重ねて期待いたします。

なお、県への陳情は、すでに十月四日に木村建設大臣が来県（大洲市へ）の際、建設大臣、高橋英吉衆議院議員、四国地方建設局長、県土木部長の四者に文書を添え陳情しています。

## 決議文

一、松山—大分瀬戸内線は、県都松山—大分両市間の最短距離であるに止まらず、長浜臨海工業地帯を含む四国・中国・九州西瀬戸臨海環状路線として重要な国家的価値を有するものであつて、その国道昇格と早急な改良整備を強力に推進するものとす。

二、松山—大分瀬戸内線が西日本における産業、経済、文化の進展に欠くべからざる紐帯となることにかんがみ、広くそれらの地域および各界関係者に対し、その認識の喚起と協力態勢の確保をはかるものとする。

三、松山—大分瀬戸内線は、特に高い観光価値を有し、その沿線における観光資源の開発および愛護保存に努力を払うものとする。

長浜町側の推進協議会委員は次頁のとおりです。

このたびの推進協議会の結成となり組織的に強力におしすすめることになったものです。

しかし、この一大事業は、これら一部の推進者だけによつて実現させようというのではむづかしく、今後関係住民の切なる願いを結集した力強い推進態勢が必要となつてまいりました。

ところで、九日に開かれた結成大会では、まず、結成大会の主催代表として西田町長が国道昇格の必要性を力説、次いで仲野双海町長が経過報告をおこなつた



約100人が出席した結成大会

# あなごと町政の現場



九月十五日  
開函した声の箱の中に、つぎのとおりのお書がはいっていましたが、投票者が無記名のため本欄でとりあげさせていただけず、これにたいする町の考え方を申し添えます。

## 一度に全額払戻しを…

### 老人医療費

老人七十五歳以上は医療費が無料になりました。ありがたいこととございます。

ところで、保険の種類によっては一度お金を支払い、そのつど役場へ行けば払戻しがありますが、そのうち四割程度はなんか月か後になりますので無料のことがピンと頭に来ません。保険の種類を問わず同一にはできないものですか、お伺い申し上げます。(無記名)

## 「つきません」

保険の種類にも国保、健保、船員保険、日雇健保、共済組合などといったようにいろいろあり、それぞれの規定(法)に基づいて運営されています。したがって、保険によって加入者の一部負担の割合や掛金額も異なっているのはご承知のとおりです。



大成 副議長



二宮 議長

お問合わせは、察するところ公立学校関係の保険と思われませんがこの場合も、該当する保険の規定(法)によってそのような処置がとられているわけで、これを町などの自治体がどうこうするということわけにはいかないことになっていきますので、あなたご自身の受けとり方をお改めいただくことによってご了承願えればと存じます。

## 議長に二宮、副に大成氏

### 「国道昇格特別委」も新設

町議会

長浜町議会第三回臨時会が、さる九月二十一日に開かれ、一般会計補正予算など上程された四議案はいずれも原案のとおり可決されました。

また、議案審議終了後、一宮議長、山下副議長、それに各常任委員から役職辞任の申し出があり改選がおこなわれました。

その結果、新しい議長には二宮義徳氏(沖浦)、副議長には大成淳氏(豊茂)が選任されるとともに各常任委員会についても下記のとおり構成替えがおこなわれました。

また、今回新しく「松山一大分瀬戸内線国道昇格特別委員会」が新設され、本線の国道昇格めざして議会も本格的に取り組むことになりました。



可決されたことはつぎのとおり

#### 一般会計補正予算

櫛生漁港防波堤の災害復旧事業費に約八百万円、晴海団地の町道改良費に約千百万円、同団地地下水

松山一大分瀬戸内線 国道昇格推進協議会委員 (長浜町側)

司 豊	西大	田野	二宮	宮成	二大	後村	桜田	野尾	東	宮本	渡邊	大菊	二山	小池	二宮	菊二	松茂	岡	清	水野	矢野	西山	藤山	山脇	宮本	児松	松山	大東	津田	谷田	石井	藤				
晴孝重	田居	居	増土	藤本	後村	村	田	尾	東	本	邊	菊	山	池	地	二	松	茂	岡	野	野	山	山	脇	本	児	松	山	大	東	津	田	石	井	藤	
義徳淳	熊武	和正	一男	豊雄	久数	仁春	満之	清三	儀	重彦	英弥	忠成	猛平	市郎	郎	明子	一	明	男	俊政	嘉															

【町役場】 町助総建【議長特別】

【産業団体】 農協 漁商

【各種団体】 観光 協会 出船 長喜 大 白 年 合 支 連 安



健康パトロール車「ひまわり号」の寄贈に次いで、町ではこんどは海を走るひまわり号「へき地保健医療艇」一隻(写真)を愛媛県からいただきました。

晴海団地第二次分譲決定者と譲渡契約を結ぶことが承認されました。分譲決定者は本紙十月号「開発日誌」で紹介のとおり。

#### 第二次分譲の契約を承認

#### 新常任委員構成

尾勝利(副委員長)、一宮泰忠、東豊、一宮亀久雄、大成淳【文教厚生】宮本数美(委員長)、渡辺仁之助(副委員長)、矢野一男、村本武則、二宮義徳、大本春明【産業建設】菊地満男(委員長)、二宮金之助(副委員長)、山下清雄、堤正和、小川儀三郎、後藤熊

林道刈屋線新設工事を千六百四十五万円で白滝の伊予建設と契約することを承認しました。

健康パトロール車「ひまわり号」の寄贈に次いで、町ではこんどは海を走るひまわり号「へき地保健医療艇」一隻(写真)を愛媛県からいただきました。この医療艇は文字通りへき地の保健医療に役立てたいとお願いしたもので、本町ではとくに海をへだてたへき地である青島への保健医療活動に利用してゆくほかに用することになっています。六人乗り、時速四十〜六十き、色は白と水色の二色ぬり、長浜港にけい

市、桜田和夫  
松山一大分瀬戸内線 国道昇格特別委員  
後藤熊市(委員長)、村本武則(副委員長)、一宮泰忠、二宮義徳、桜田和夫、堤正和、矢野一男



### 衛生課 救急車の係です 係…西本幸雄

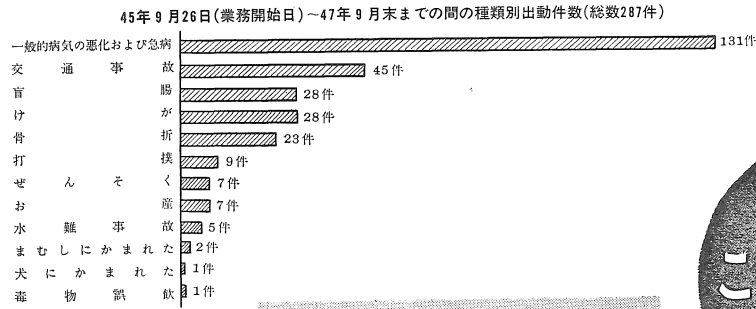


西本です。どうぞよろしく!!

ご承知のように町(自治体)が独自で救急業務をおこなっているのは県内では長浜町だけです。設置当初は患者輸送車という性格のものでしたが、昨年の十月からは消防法が適用される正式な救急車としての扱いとなりました。という都市の消防署に常備されているもののような本格的な装備はできませんが昼夜を問わず救急業務にあたっています。昼夜といえは利用の方も夜の出勤が多く、病気の悪化はとかく、夜に起こりがちというようなことを思い知らされます。また、出勤理由では上のグラフでおわかりのように特に交通事故患者が多く交通事故が多かか物語っています。くれぐれも注意していただきたいと思ひます。

ところで、この仕事について「まずと、危うい生命を運ぶ仕事」だけに、身震いするほど緊張することもしばしばです。中には輸送途中で息を引きとられた方もおられます。

しかし、たとえ精いっぱい努力をしたつもりでも「待つ身の長さ」ということでしょ、「遅くたいどを聞いて、今後の出かせぎ問題を解消してゆくための施策推進に役立てるためおこなわれたもので調査の対象は、昭和四十七年六月十五日現在出かせぎに行っている人、あるいは帰省している人であっても昭和四十五年一月以降に出かせぎに行ったことのある人(世帯)です。



救急車の係といえは、いろいろその仕事について説明するまでもありませんが、町独自で始めたこの業務もことしの九月二十六日から二年になりました。その間の出動回数二百八十七回、二日半に一回の割合で出動しており、まずは大いにお役に立っているというところ

## 働く職場ないから・四二% 賃金が安いから・三八%

### 出かせぎ調査結果

町では、このたび愛媛県の依頼を受けて長浜町住民の出かせぎ調査をおこないましたが、その結果

「出かせぎ」とは、農林漁業地域などにおいて、家業に従事するかたわら一か月以上一年未満居住地を離れて臨時的、季節的に雇われ就労するものであって、その就労期間後は居住地に帰る者をいいます。したがって、出かせぎが本職的になっているといつたような方はこの

ただし、この調査でいう「出かせぎ」とは、農林漁業地域などにおいて、家業に従事するかたわら一か月以上一年未満居住地を離れて臨時的、季節的に雇われ就労するものであって、その就労期間後は居住地に帰る者をいいます。したがって、出かせぎが本職的になっているといつたような方はこの

「出かせぎ」とは、農林漁業地域などにおいて、家業に従事するかたわら一か月以上一年未満居住地を離れて臨時的、季節的に雇われ就労するものであって、その就労期間後は居住地に帰る者をいいます。したがって、出かせぎが本職的になっているといつたような方はこの

「出かせぎ」とは、農林漁業地域などにおいて、家業に従事するかたわら一か月以上一年未満居住地を離れて臨時的、季節的に雇われ就労するものであって、その就労期間後は居住地に帰る者をいいます。したがって、出かせぎが本職的になっているといつたような方はこの

「出かせぎ」とは、農林漁業地域などにおいて、家業に従事するかたわら一か月以上一年未満居住地を離れて臨時的、季節的に雇われ就労するものであって、その就労期間後は居住地に帰る者をいいます。したがって、出かせぎが本職的になっているといつたような方はこの

「出かせぎ」とは、農林漁業地域などにおいて、家業に従事するかたわら一か月以上一年未満居住地を離れて臨時的、季節的に雇われ就労するものであって、その就労期間後は居住地に帰る者をいいます。したがって、出かせぎが本職的になっているといつたような方はこの

**訂正**

九月号五ページの長浜町公民館結婚に関する記事で「公民館結婚記念写真料」が、つぎのとおり誤りでしたので、訂正します。

- 白黒三枚一組三、二〇〇円とあるのは、三枚一組三、七〇〇円の誤り。
- カラー二枚一組四、七五〇円とあるのは、二枚一組五、七〇〇円の誤り。

九月号の「寄付」の欄で「京都市のエンゼル工業KK社長 佐藤重臣さん：「青島盆おどりに使ってください」と現金一万円を青島老人クラブへ」とあるのは、青島公民館への誤り。

**調査結果**

調査の結果、この調査でいう出かせぎ者数は百十一人でした。そして調査はこの百十一人の方に対して、大きく分けて二十二項目にわたる質問をおこない回答してもらったものです。

ただし、本欄では、このうち関心の深いものについてだけ取り上げ、次ページののとおり円グラフによって示してみました。

これによると、出かせぎの理由は、生活費が困る、働きたいが地元では適当な就労先がない、たまたま、出かせぎ者のほとんどが、家庭にとつてももちろん、地域や町の発展にとつても重要な立場にある世帯主であること、しかも、第一次産業に多く、中でも農業者がそのほとんどを占めています。このことは、町内総戸数の約三分の一を占める農業者の方はもちろん、町民みんなの問題として考えていかなければならない課題を含んでいるようです。

また、人間優先ということが叫ばれる時代といえど、この結果

# 長浜文芸

—編集室選—

**短歌**

面河山古き大木皆よしと友と語り  
つつ谷の道ゆく  
出海短歌会 本田重太郎

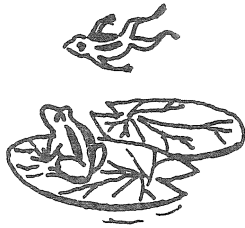
故里の荒磯のさまの変わり果て姉と  
歩きつつ多く語らず  
出海短歌会 稲田 都

ふたもとのペカンは茂るこの庭に  
優しき人は一人住むと言ふ  
白菊短歌会 泉 ゆき子

亡き吾娘が学校へ通ひし靴のかげ  
に今夜もコオロギは鳴きくるな  
白菊短歌会 矢野元秀子

山の上を朝雲疾く流れゆくいまだ

ふたたびは帰らぬ日々よ信念のゆ



出でざる日に染みながら  
ありそ短歌会 久保 七郎

敬老の日に米寿祝ひて賜はりし品  
をかざりて針仕事する母  
ありそ短歌会 久保 美江

## 俳句

らぎて暗き部屋に座しをり  
櫛生短歌会 石川 忍

なり少なき蜜柑精なく摘みをれば  
襟落葉の籠に散りくる  
櫛生短歌会 増田ムツ子

椅子借りて愛の羽根受く松葉杖  
長浜句会 菊地起巳恵

チャンチャンコ服に重ねて赤い羽  
根  
長浜句会 片岡 一穂

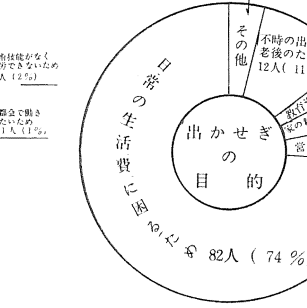
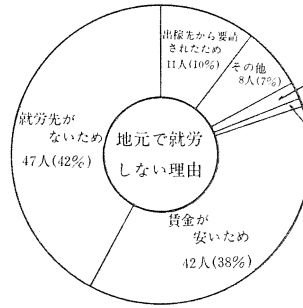
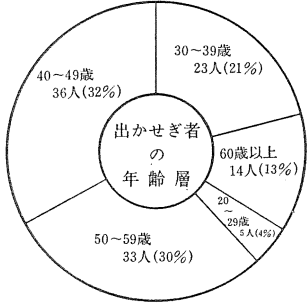
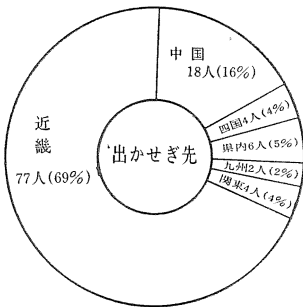
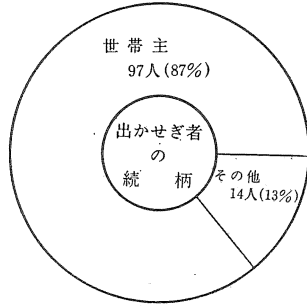
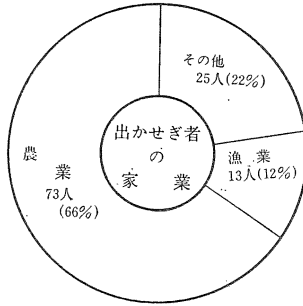
見送りし吾子の日傘の遠会釈  
芽ばえ(柴) 小野 雪子

参観日バスよりつづく日傘かな  
芽ばえ(柴) 新 みつほ

## 募集

全国各地の民謡  
が唄えます!!  
愛媛民謡同好会  
長浜支部へどうぞ。

例会 毎週月、木  
場所 長浜町体育館  
時間 夜七時半～九時半  
入会ご希望の方は、長浜横町・  
吉岡英則(支部長)方へどうぞ。



左右両方の枝を合わせた長さは約三五両にもおおよぶ



天然記念物めぐり 白滝の『くろまつ』

この「くろまつ」は、昭和四十六年三月十五日に町が指定した文化財です。通称「てながまつ」とも呼ばれています。

国鉄白滝駅を下車し、すぐ正面に西瀧寺という寺がありますが、その寺の本堂の正面の境内に植えられています。

主幹の周囲二メートル二十五センチ。左右ほとんど同じ位置の高さから枝が水平に伸びているのが特徴で、その枝も右の枝は約二十一センチ、左の枝は約十四センチという巨枝で数本ものつかえ棒で支えられています。

くろまつは各地に見られますが、この松のように長い巨枝を伸ばしているものはめずらしいため文化財に指定したものです。

樹令は約三百年。

◎おねがい  
枝葉はいっさい切ったり折ったりしないでください。

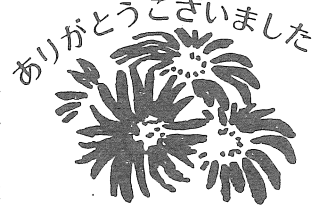
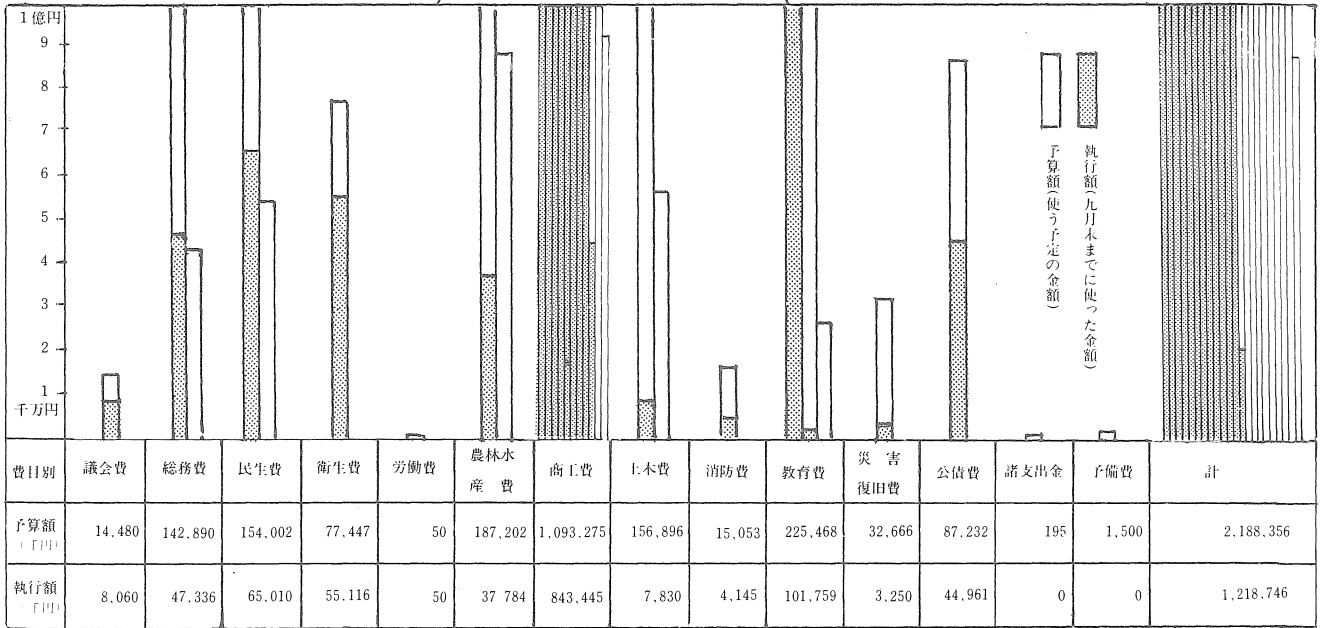
# 月末長浜町の財政

## 会計

税別収入状況

税種	予算額	収入済額
町民税	30,977,000円	17,307,642円
固定資産税	26,119,000	13,085,725
軽自動車税	3,420,000	3,624,750
たばこ消費税	15,846,000	7,010,340
電気ガス税	7,004,000	3,808,431
木材引取税	300,000	0

## 歳(出るお金)出



### 寄付

○長浜六区の中村権六さん(七十歳)  
 ○現金二万円・長浜九区の高佐潔さん(五十歳)  
 ○現金五万円  
 ○長浜町社会福祉協議会へ。  
 ○衛生の大塚保さん(四十六歳)：現金一万円・下坂馬太郎さん(六十二歳)：現金五千円・衛生の菊地勝さん(四十七歳)：現金一万円  
 ○衛生の菊地勝さん(四十七歳)：現金五千円ずつを「事業費の足しに」と、老人クラブ衛生老友会と衛生白寿会へ。  
 ○出海保育所母の会：整理タンス二棹を出海保育所へ。  
 ○上老松の城本繁雄さん(七十七歳)：現金二万円を相生公民館へ。  
 ○豊茂の渡辺稔さん(七十五歳)と大宮敬雄さん(三十九歳)：それぞれ金一封を豊茂公民館へ  
 ○長浜町商工青年部：おぼけ屋敷興行での収益金で雨傘五十本を購入し「創立百周年記念に」と長浜小学校へ。

### \*表彰\*

下須戒の中川寛蔵さん  
 中川さん(七十二歳)は、四十七年度愛媛県優良老人として、十月三日四日、眩川町で開かれた愛媛老人大学喜多教室の席上、玉井県老人クラブ連合会長から表彰。  
 長中校長・大川咲一郎さん  
 長浜中学校の大川校長(五十八歳)は、教育功勞者として、十月五日東京でおこなわれた学制発布百年記念式典の席上、両陛下ご臨席のもと、

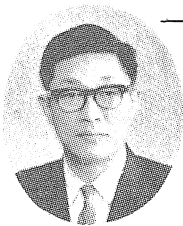
稲葉文部大臣から表彰。  
 民生委員・大野快真さん(戒川)大野さん(六十八歳)は、民生委員を永年勤続したことにより、十月十三日、白石県知事から表彰。  
 長浜町  
 長浜町は、母子衛生の向上に努めその成果をあげたことにより、十月十三日、松山市の具医師会館で開かれた第四回愛媛県母子保健推進大会の席上、白石県知事から表彰。

### お誕生おめでとう!!

九月届出分(敬称略)  
 住所 保護者名 続柄 氏名  
 長浜 菅 三宅 仲弘 長女 令子  
 長浜 池田 昭夫 長男 昭平  
 長浜 大野 泰俊 二男 昭一  
 長浜 宮田 正量 三男 英樹  
 今 後藤 清一 二女 潤恵  
 今 上川 一夫 二女 繪里  
 今 白石 賢次 二男 里司  
 下須戒 山崎 通治 二女 太代  
 下須戒 楠本 武義 二男 長男  
 下須戒 矢野 忠篤 二女 幸司  
 豊茂 佐々木 晋一 二男 大介

### おくやみ

九月届出分(敬称略)  
 住所 死亡者名 死亡時年齢  
 長浜 佐々木 いわ子 四十八歳  
 長浜 高田 實夫 七十四歳  
 長浜 高左 フミ 八十二歳  
 長浜 三好 千鶴子 四十七歳  
 中野 芳清 一 四十七歳  
 宮本 鶴市 彦 七十九歳  
 城野 昭彦 七十三歳  
 藤岡 ユキミ 七十四歳  
 矢野 ケイ 七十四歳  
 西岡 長栄 七十四歳  
 松原 シメ 七十八歳  
 後藤 クニエ 七十五歳



財政状況の公表

長浜町の財政事情の作成および公表に関する条例により  
昭和47年度9月末現在の財政の公表をします。

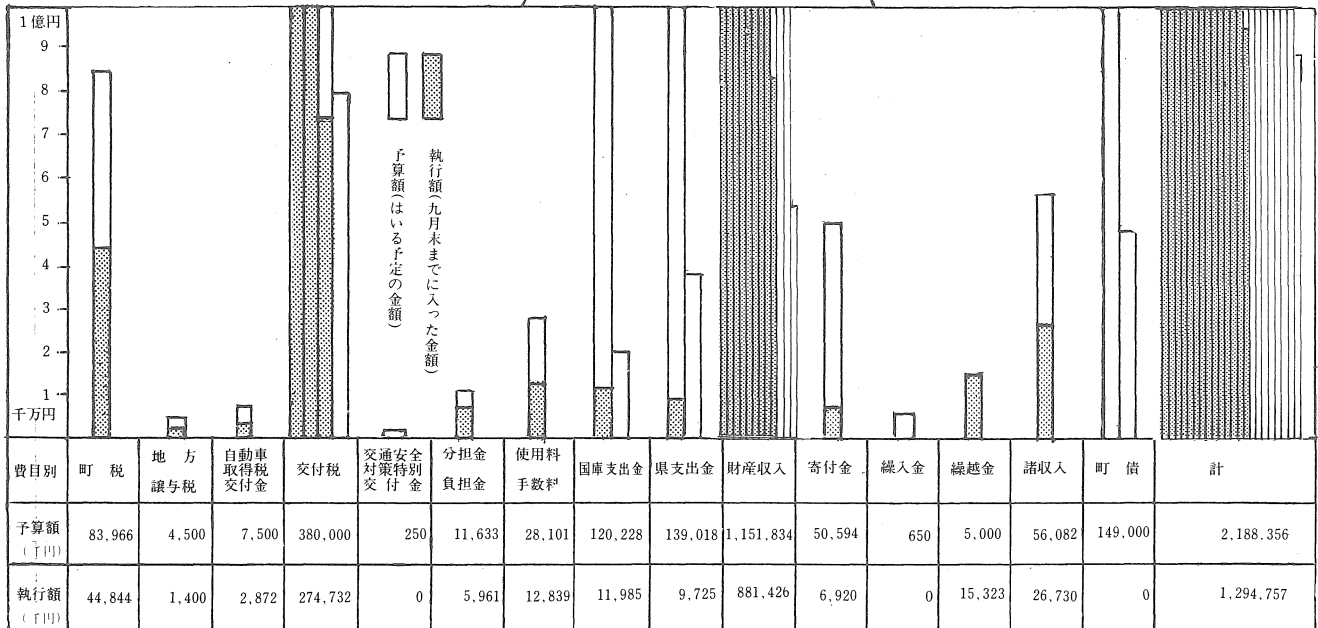
昭和47年10月

長浜町長 西 田 司

# 昭和47年度9

## 一 般

### 歳(はいるお金)入



### 水道事業会計

水道事業収益 単位 <千円>

科 目	予 算	徴収額
給 水 収 益	24,768	10,599
受託工事収益	800	151
その他の営業収益	245	137
合 計	25,813	10,887

水道事業費用 単位 <千円>

営業費用		
科 目	予 算	支 出
原水および浄水費	6,361	3,158
配水および給水費	3,755	705
受託工事費	630	136
総 係 費	7,560	3,929
繰 出 金	150	0
減価償却費	3,244	0
小 計	21,700	7,928
営業外費用		
営業外費用	6,747	3,663
小 計	6,747	3,663
合 計	8,447	11,591

### 国民健康保険

子算額	169,103千円
収入済額	81,347千円
支出済額	54,176千円

### 特別会計

### 国民健康保険直営診療所

子算額	19,391千円
収入済額	346千円
支出済額	12,282千円

### 港湾施設

子算額	6,450千円
収入済額	1,895千円
支出済額	1,789千円

### 青島航路

子算額	9,200千円
収入済額	1,152千円
支出済額	5,015千円

### 農業共済事業

子算額	10,302千円
収入済額	2,082千円
支出済額	2,402千円



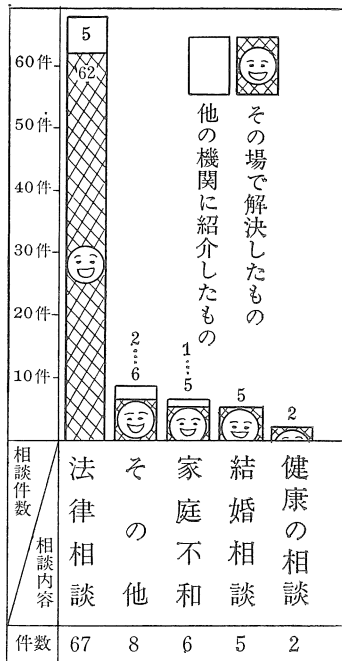
男心と秋の空だ、いや女心となるて  
 秋の空だ、夫婦口論の澄みきって晴  
 季節。しかし秋空はこれを思わせだ  
 安定した秋空は都会ではかくくいな  
 れ大和心そのものがふえ空気が毒の  
 かしなモッがたのなっはたのたのた  
 澄みきるなっはたのなっはたのたの  
 空が地上に満ちたのたのたのたのた  
 地えな肥ゆる所ある元前の姿原の因  
 高い所をばまた目の前を原の因の過  
 をはるまでもな語にきけるかへの再  
 う過密の解消できる帯置の再配置  
 答は一つ、過疎地配置、産業配置、  
 である。人の再配置、再配置、公  
 配置、機構や施設、再配置、公  
 の上でなければ単なる個々の役至問  
 害防止策など根本的な改築ならな  
 立であるか、これはなかなければ非  
 解決に向かない、是が改築などとい  
 やっである。▲日ところを指す決意  
 こ国民がこぞ、このことはなかな  
 やつてやれないことはなかなかな  
 中とはないが、一度汚染さる心  
 と払い除きたいのは心情報  
 モッではなからうか▲情報  
 化時代、情報公害時代といわれ  
 情報の過密現象で心の中はど  
 まったらよいの過疎地帯へこの開  
 もまた心より他に聞、テレビ、遠  
 させるよるか▲新聞、ミを探究すゆ  
 週誌など、深く高い文学書でも  
 っくりひもといて、しばしと灯の心  
 (めいー)にふけるひとそ灯の心  
 求めたいものだ、読書の秋の真  
 親しむべき、読書の秋の真  
 ではなからうか。

長浜町社会福祉協議会では、町  
 内のみなさんに少しでも明るくす  
 ごしていただくため、毎月十日、  
 二十日、三十日に「心配ごと相談  
 所」を開設、いろいろな心配ごと  
 の相談に応じています。  
 明るい生活をおくるため、どう  
 ぞお気軽にご利用ください。  
 場所：長浜町消防館  
 時間：午前九時～午後三時  
 相談に応じる人：民生委員、人  
 権擁護委員、弁護士

……だれだって楽しく暮したい……

ご利用ください 心配ごと相談 10・20・30日

46年度心配ごと相談実施結果状況



その場でほとんど解決 法律問題が最高

ところで、四十六年度の心配ごと相談結果を見ますと、全部で九十三件の相談に応じており、そのうち八十五件(九一%)までは相談所で解決、残りの八件は他の機関で紹介して解決をはかっています。

下だより 新種保険発売!!

相談内容は、秘密を守るためま  
 え上くわしくは申し上げられませ  
 んが、相談事項別に見てみますと  
 法律問題が全体の七二%を占めて  
 六十七件、家庭不和問題六件、結  
 婚問題五件、健康問題二件、老人  
 福祉問題一件、苦情一件、精神衛  
 生関係一件、しごとの問題一件、  
 普通死の場合は満期保険金額の七倍  
 害死の場合は満期保険金額の三  
 倍をお支払いします。  
 また、傷害特約付きですから、  
 被保険者が交通事故や思わぬ災害  
 で五日以上入院されたときは、四  
 か月分まで一日につき保険金の千  
 分の一(一日最高三千元)の入院  
 保険金を、身体に障害が生じたと  
 きは、その程度に応じ保険金の金  
 額(最高三百万円)から一割まで  
 の傷害保険金をお支払いします。

開発日誌



- 9・14 晴海団地第二次分譲契約(仮契約)説明会ひらく。
- 9・20 長浜町公害対策審議会ひらき、昭和サボアKKから提出された炭素電極工場公害防止計画について報告おこなう。
- 9・20 晴海団地第二次分譲登記完了。

9月末人口世帯数

14,127人 (男6,679人 女7,448人)



9月中の異動= 転入 30  
 ・出生 14 ・職権記載 4  
 ・転出59・死亡15・職権消除  
 1=48人増75人減=27人減

3,846世帯

9月中の異動=転入による増  
 5・職権記載による増1・転出  
 による減14・世帯合併による  
 減5・死亡による減1=6世帯  
 増20世帯減=14世帯減

\*\*\* 白滝局もダイヤル式に!! \*\*\*

「11月22日午後3時から」白滝、八多喜の電話がダイヤル式に変わります。  
 白滝は長浜局に編入され 長浜 (08935) 4-XXXX  
 八多喜は大洲 (08932) 6-XXXX  
 となります。ご面倒でも電話番号帳により正確にダイヤルしてください。